

Buddhist ruins exploration record at silk road シルクロード仏教遺跡探訪記

13日目【2000年4月26日】

素敵な町、蘭州〈蘭州〉前半

ここ蘭州は、夕方になると風が吹き砂埃が舞う。そのせいで、街全体、霧がかかったようになる。この状況を除けば、過ごしやすく、また人情味の溢れる良い街であった。

ホテルのマネージャーとは仲良しになり、色々サポートして貰った。実は今日も助けて貰ったのである。疲労困憊とは、このような感じなのか。異国の地ゆえ、精神は常に張りつめ、昨日行った炳靈寺石窟では、中国人になりきった。今日まで、かなりの距離を歩いた。心と身体が悲鳴をあげそうになるのを感じる。それで今日は、夜の出発に備え、身体を休め、ゆっくりと過ごすことにした。

旅に慣れてきたせいで、持ち物の中の、いる物といない物が分かってきた。これから先は移動の連続になるので、荷物は少なくしたい。持ち物を整理すると、小包くらいの大きさになったので、日本に郵送しようと思い、郵便局に行った。丁度良いことに、ホテルの横が郵便局であった。

旅行ガイドブックに書いてある、小包の送り方と、中国語会話集の郵便局で使う中国語のページを読み込み、勢い込んで郵便局に突入。ですが、あえなく退散。（郵便局でのデジカメ画像データは紛失）



砂埃が舞う蘭州の街



勝如上人御手植松



現在のお手植え松

昭和三十二年、勝如上人（本願寺第二十三代門主）の御手植松の写真、デジタルデータで適切に保存しております。

お盆を過ぎましたのに、厳しい猛暑が続きます。これから稲刈りの時期、熱中症対策して、無理になさってください。

住職レター

シルクロード仏教遺跡探訪記は、今月で十三日目を迎えました。当時のホームページへ掲載した原稿を、加筆修正しながら、寺報に連載しております。

残念なのは、デジカメ画像データを紛失していること。当時はスマホなどは未だ無く、ノートパソコンとデジカメ、それとフィルム式のカメラを持参。確か、フィルムを三十本くらい持って行ったと思います。

フィルム式カメラとデジカメ、どのように使い分けていたのかは、もう忘れしました。帰国後、フィルムは現像に出し、デジカメ画像データはパソコンに保存しておりました。その後、現像した写真を、デジタル処理してデータで保存。

時が経ち、デジカメ画像データは紛失し、フィルム写真データのみが現存。この事実が判明した時、心で泣きました。

昔の写真は、適切に保存なさってくださいね。

Buddhist ruins exploration record at silk road シルクロード仏教遺跡探訪記

13日目【2000年4月26日】

全37日間

素敵な町、蘭州〈蘭州〉後半



蘭州での最後の夕食

郵便局で何を言われているのか、全く分からなかった。日本人は外国人相手だと、知っている単語とか身振りで、ゆっくりと分かりやすく話すと思うのだが。こちらが、中国語会話集の『あなたの言っていることが分かりません』のページを示しているのに、先方は全くお構いなしだった。もうお手上げ、どうしようもない。

ホテルへ帰り、マネージャーに相談した。二つ返事とは、こういうことか。「OK」と言って、俺に任せておけという余裕の笑みを返してきた。直ぐに、郵便局へ一緒

に行ってくれた。これこそ正に、三蔵法師が孫悟空を引き連れた心境だろうか。(笑)

もう怖いものはない。ホテルのマネージャーが通訳をしながら、郵便局の担当者に対して、時には高圧的に、私の要望を通してくれた。

ガイドブックには、郵便局で中身のチェックがあるから、小包の封はしないで持って行くようにと書いてあった。だから私は、小包は中身が見えるようにしておいた。

郵便局の女性担当者は、「送るのに、なぜ封をしていないのか?」と言っていたようだ。頓珍漢な日本人だと思われたことだろう。

今日は一日、良い天気だった。この蘭州の街、ホテルのマネージャーにも感謝しながら、いつの日かまた訪れるのを楽しみに、ここ蘭州に別れを告げた。



蘭州駅より出発

今後の法要スケジュール

「宗祖聖人月忌」

門信徒祥月命日法要 (善教寺本堂)

九月 十六日 (火曜日)

午後一時半

*毎月十六日に本堂において勤めております。

「護持会報恩講」 (善教寺本堂)

十月 十八日 (土曜日)

午前十時

午後一時半

午後三時半

朝席

昼席

法要終了

講師 広幡康祐師 (呉市安浦町 信楽寺)

「報恩講」 (善教寺本堂)

十二月 二日 (火曜日)

午前十時

午後一時半

午後三時半

朝席

昼席

法要終了



講師 吉盛大智師 (黒瀬町 西教寺)

*お接待当番 武士地区

ご 縁 に 感 謝

善教寺ホームページ『縁』 <http://otera.or.jp/>

メール zenkyo@otera.or.jp